学校番号	T3011

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新・見てわかる社会と情報　（日本文教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・座学と実習を通して、コンピュータなどに対して理解を深めて活用できる力を身に付けてもらいます。
・座学では、情報モラルやコンピュータの仕組みといった内容が中心となり、プリント学習だけでなく体験型教材やアニメーションなども踏まえながら学習していきます。
・実習では、コンピュータ操作（文書作成・表計算活用・プレゼンテーション・プログラミングといった仕事に役立つ内容からＨＰ作成・動画編集といった日常生活で活用できる内容まで）を基礎から教えていくので苦手な人でも安心して取り組めるので最後まで諦めずに取り組みましょう。

２　学習の到達目標

・コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得する。
・情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、ネットワークを利用して効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報化社会に積極的に参加する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報の特徴と情報化が社会に果たす役割を及ぼす影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身に付け、効果的にコミュニケーションを行っている。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 自己評価・相互評価 定期考査の結果 等	学習状況の観察 課題作品 実技テストの結果 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	情報社会に生きるわたしたち	・情報を活用しよう ・情報モラルを身につけよう ・コンピュータの仕組み ・コンピュータの基本操作	 ○ 	○ ○ 	 ○ 	○ ○ 	a: 情報機器の特徴とはたらきに関心を持てたか。情報機器の基本操作を身に着けようという意欲を持てたか。 b:コンピュータを利用する上で必要な手続きを身に付けることができたか。 c: 適切なパスワード設定ができ、キーボード入力を行うことができたか。 d: コンピュータの仕組みについて理解することができたか。コンピュータを利用する上で必要な手続きを理解できたか。	授業観察 ワークシート 定期考査
前期	文書処理	・文書処理ソフト(Word)活用 タイピング 基本操作・書類作成	○	○	○	○	a: 実習に積極的に取り組むことができたか。 b: 課題に示された操作手順を追いながら実習を効率よく進めることができたか。 c: 文書処理ソフトウェアの基本的な操作を身に付けることができたか。完成例通りの文書を作成できたか。 d: 著作権への配慮事項について理解できたか。	授業観察 実習作品 実技テスト 定期考査
前期	情報社会のしくみを知ろう	・情報通信ネットワークとコミュニケーション ・情報のディジタル化 (文字・音・画像・動画)	 ○ 	○ 	 ○ 	○ ○ 	a: 情報のディジタル化の仕組みについて関心を持つことができ、実習に積極的に取り組むことができたか。 b: アナログとディジタルの違いについて考えることができたか。２進法を理解できたか。 c: 画像ファイルを、コンピュータで取り扱う方法を身に付けることができたか。 d: ディジタルとアナログの特徴を理解することができたか。文字、音、画像、動画などがコンピュータでどのように扱われているかを理解できたか。	授業観察 ワークシート 定期考査

前期	表計算活用	・表計算ソフト(Excel)活用 基本操作 表・グラフ作成 関数活用	○	○	○	○	a: 実習に積極的に取り組むことができたか。 b: 表計算ソフトウェアで目的の結果を得るための計算式を考えることができたか。 適切な表やグラフを選択することができたか。 c: 表計算ソフトウェアの基本的な操作を身に付けることができたか。見やすい表やグラフを作成することができたか。 d: 表やグラフの適切な使い方を理解することができたか。	授業観察 実習作品 実技テスト 定期考査
後期	情報社会の課題について考えよう	・情報化が社会に及ぼす影響と課題 ・情報セキュリティの確保 ・情報社会における法と個人の責任	○ ○	 ○ ○ ○	○	 ○ ○ ○	a: 情報セキュリティや個人情報の管理に関する意識を高めることができたか。実習に積極的に取り組むことができたか。著作者の権利に配慮することができたか。 b: 知的財産に関する権利や個人情報を保護する目的を理解し、法律の果たす役割を考えることができたか。著作物を利用する際に必要な手続きを、状況に応じて判断できるか。 c: 日常的な情報機器の利用の際に、必要なセキュリティ上の設定ができているか。SNS 等のインターネット上のサービスを利用する上で、自身の個人情報を守るための各種設定ができているか。 d: 情報セキュリティを高めるための各種方法について理解できたか。個人情報・知的財産権とは何かを理解することができたか。	授業観察 ワークシート 定期考査

後期	情報の表現・伝達	・プレゼンテーションソフト（Powerpoint）の活用 ・HTML を活用して Web ページ作成	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: 実習に積極的に取り組むことができたか。Web ページの仕組みに関心を持つことができたか。 b: 伝えたい内容をわかりやすく伝えるための話の流れを考え、資料作成の工夫ができたか。 c: プレゼンテーションソフトウェアの基本的な操作を身に付けることができたか。理解しやすいスライドを作成することができたか。簡単な Web ページを作成する方法を身に付けることができたか。 d: 問題解決にプレゼンテーションを生かす方法を理解できたか。情報をわかりやすく伝えるための方法を理解することができたか。Web ページの仕組みを理解することができたか。	授業観察 実習作品 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。